

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	パル・キッズ・クラブ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の質の向上を図る取り組みが、活発に行われている	事業所内研修や、資格取得に向けての支援 支援の統一に向けた、全員参加の会議 個別カンファレンスの開催 放課後等デイサービススタッフ勉強会の主催	研修は参加して終わりではなく、研修後のフィードバックの機会をしっかりと持ち、自身の支援に落とし込めるようにする。
2	個別支援計画作成、モニタリング等子どもの支援にかかわる会議等に全スタッフが積極的に関わっている	会議は計画的に、レジメを用意して実施し、AI議事録で会議に集中できる環境を作っている。 個々の支援について共通認識を持てるように、情報を共有している。	個人懇談や担当者会議にも児発管だけでなく、現場スタッフが意見等ができるように同席して、さらなる支援の共有を図る。
3	保護者との連絡を密に取り、コミュニケーションが取れている。	ソフトウェアを使い、保護者とのコミュニケーションを取っている。連絡帳機能に療育の内容や、子どもさんの様子の写真を入れたり、支援の見える化を心掛けている。	ソフトウェアなどを使い、保護者ニーズがつかめるような取り組みを検討している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対する家族支援プログラムが不十分でない 保護者会等、保護者同士の交流の機会が少ない	保護者会などの開催に向けて、保護者のニーズをつかみきれしていない。 イベント企画力のあるスタッフ不足。	ソフトウェアなどを使い、保護者ニーズがつかめるような取り組みを検討している。 イベント企画力のあるスタッフ教育。
2	地域の子どもたちやとのかわりが少ない	事業所の努力だけでは改善できないことが多い 地域とのかわりには、当事業所に活動を知ってもらうことが先決だが、そのすべが考え切れていない。 スタッフに企画やマネジメント能力が求められる。	地域向けイベント開催、地域の企業とのかわり、自治会イベントへの参加、他事業所イベントへの参加等計画する。
3	通所を余り楽しみにしていない子どもさんが一定数いる	魅力ある事業所づくり 子どもや保護者の真のニーズを知る 療育内容の確立	当事業所が、どういう療育を提供している、どんな活動を行っているのかを発信し、納得したうえで通所してもらえるようにする。どこでもいいといった安易な利用は避けてもらう。そのためには支援の見えるかを図り、納得した上での利用に繋げる。またスタッフも支援の内容をきちんと説明できるようにする。